

令和5年度 学校園評価(関係者評価)シート

(様式2)

学校園名	加古川市立東神吉こども園
------	--------------

1 教育目標 「わくわく心 いきいき体」

2 指導目標

- 基本的な生活習慣を身に付け、健康な心身を育む。
- いろいろな人と関わる喜びを感じ、信頼感を育てる。
- 身近な自然とふれあい、好奇心や探求心を育む。
- どんなことにも挑戦し、やろうという意欲を育てる。

3 重点目標

- 基本的な生活習慣を身に付ける。
- 身近な自然に親しみをもつ。
- 自分らしさをのびのびと表現する。
- 友達や保育教諭と一緒に遊ぶ楽しさや思い切り体を動かす心地よさを味わう。
- 最後まで諦めずにやろうとする意欲をもつ。

評価基準

A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	成果(●)と改善の方策(○)
基本的な生活習慣を身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> • 健康的な生活の仕方を知る。 • 自ら進んで挨拶をする。 • 自分でできる身の回りのことをする。 • 苦手なものでも食べてみようとする。 	A	<ul style="list-style-type: none"> • 登園時に挨拶を交わすことで、自ら挨拶をする子どもが増えてきた。 • 苦手なメニューも、「一口は食べてみる」という意識が芽生え、摂取量も増えてきた。 ○年齢にあった生活の仕方を伝え、身に付くようにしていく。 ○苦手なものも食べてみようと思えるように、野菜を栽培したり栄養や自分の体について知る機会を増やしたりする。

自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> • 日常的に大人から挨拶をしてあげることが幼児期には大切なので、積極的に挨拶を続けてやってほしい。近隣の小学校でも挨拶を強化しており、児童に変化が出てきている。 • コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられてから、うがいや歯磨きが再開されたり、4,5歳児に関しては、フッ化物洗口が始まったのは良い事だ。 	A

<p>友達や保育教諭と一緒に遊ぶ楽しさや思い切り体を動かす心地よさを味わう</p>	<ul style="list-style-type: none"> •いろいろな遊びを通して多様な動きを体験する。 •友達や保育教諭に親しみを持ち、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 •友達との関わりを通して、互いの思いや考えに気付く。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> •毎朝の体操から異年齢の関わりを意識して取り組み、こども園ウィークでは全園児が混在したチームでお店屋さんごっこを楽しんだ。名前と顔が一致しない状況からのスタートだったが、次第に5歳児が言葉をかけたり、手を引いたりして活動をリードしていく姿が見られるようになった。 ○異年齢との関わりが定着するように、5歳児を中心に早い段階から交流をもつ機会を作っていく。 ○自分の思いばかりを主張するのではなく、相手の思いにも寄り添えるような関わり方を促していく。 	<ul style="list-style-type: none"> •0.1歳児の劇遊びを観た中で、先生が一人一人に心深く愛情を注いでいることが伝わってきた。先生も子ども達と一緒に遊びを楽しむことが一番大切だと感じた。また、どのクラスも日頃から「目配り」「気配り」をして子ども達との繋がりができているからこそ伸び伸びと遊べている。 	<p>A</p>
<p>身近な自然に親しみをもつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> •身近な自然に触れ、それを使って遊んだり興味や関心を広げたりする。 •自然の不思議さを感じ、調べたり確かめたりする。 •生きものと遊んだり、世話をしたりする中で生命の尊さに気付く。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> •様々な小動物と触れ合い世話をすることで、自然の不思議さや命の大切さを感じることができた。 •季節の花や野菜を栽培し、育て、収穫することができた。毎日の世話から花や野菜の生長を注意深く観察したり調べようとしていたりする力が育った。 ○次年度に繋がるように、計画的に親しみのわく花や野菜を育てる。 ○自然に触れ、発見や感動を味わえるような環境を準備していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> •園舎の建て方や環境から見ても、花壇や畑、季節を感じる樹木が少ない。その中で、子ども達が自然に触れる機会をもてるように工夫し、努力していることがよくわかる。 	<p>A</p>
<p>最後まで諦めずにやろうとする意欲をもつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> •自分なりの目標に向かっていろいろな遊びに挑戦し、できた喜びや達成感を味わう。 •難しいことでも自分なりに考えたり、工夫したりして取り組み、満足感や達成感を味わう。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> •竹馬やパカポコに何度も挑戦する姿を最後まで励まし、気持ちに寄り添うように努めた事で、できた喜びや達成感を味わう経験に繋がった。 ○園児が挑戦したりイメージしたりできるように、多様な素材や用具を準備し、すぐに取り組みめるような環境を整えておく。 	<ul style="list-style-type: none"> •「意欲」をもつ子どもに育てるために大人も真剣に向き合い、サポートすることで最後まで諦めないという心を育ててほしい。 	<p>A</p>
<p>自分らしさをのびのびと表現する力を培う</p>	<ul style="list-style-type: none"> •遊びや生活の中で感じたことや、考えたことを伝えたり、作ったり、演じたりして表現する。 •心を動かす出来事にふれ、友達に伝えたいと感じたり、表現したりする喜びを味わう。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> •感じたことを自分なりに言葉や身振りで伝えようとする姿を認めることで、友達同士で表現する過程を楽しんだり、喜びを味わったりする様子が見られるようになった。今後も、自分の思いを相手に伝える意欲を育んでいきたい。 ○一人一人の思いを丁寧に受け止め、自己表現できる雰囲気を作ると共に、他者の考えにも気付き、認め合うことができるように関わっていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> •年間を通してクラスだよりや園だよりで子ども達の様子がよく分かった。園でしか見られない表情や動きから、子ども達の成長を感じた。今後も自ら考えたり思いを相手に伝えたりすることができるような子どもに育つように関わってほしい。 	<p>A</p>